

第 32 回（令和 6 年度第 2 回）公立大学法人 公立小松大学 経営審議会 議事概要

1 日 時 令和 6 年 9 月 25 日（水）13 時 27 分～14 時 52 分

2 場 所 中央キャンパス 2 階 会議室

3 出席者

石田委員長（理事長）、山本副委員長（学長）、志村委員（副学長）、西委員、
鈴木委員、千葉委員（事務局長）、越田委員、清水委員

監 事

松本監事、能登監事

欠席者

山崎委員、保川委員

4 議 事

(1) 前回、議事概要の確認

石田委員長より前回の議事概要について説明があり、原案どおり承認された。

(2) 審議事項

① 令和 7 年度予算編成方針について

千葉委員及び吉田事務局次長兼財務課長より、資料 2 に基づき令和 7 年度予算編成方針について説明があった。審議の結果、原案どおり承認された。

② 学則の一部変更について

志村委員より、資料 3 に基づき学則の一部変更について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

③ 大学院学則の一部変更について

志村委員より、資料 4 に基づき大学院学則の一部変更について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 報告事項

① 令和 5 年度業務実績評価について

山本副委員長及び千葉委員より、資料 5 に基づき令和 5 年度業務実績評価について報告があった。これに対して越田委員より、図書館の利用者数が 0 となっている理由として新型コロナウイルスの影響を鑑みた結果と記載されているが、5 類感染症に移行している現在も影響が続いているのかと質問があり、中野事務局次長兼総

務課長より、完成年度を迎え学生の増加に伴い飽和状態が続いており、現在も制限を継続していると回答したところ、越田委員より、その旨を記載すべきと指摘があった。

② 第1期中期目標期間業務実績評価について

山本副委員長及び千葉委員より、資料6に基づき第1期中期目標期間業務実績評価について報告があった。これに対して鈴木委員より、評価に「S」がない理由について質問があり、中野事務局次長兼総務課長より、市の評価基準に基づいて、全ての項目別評価のうち一つでも評価の条件を下回った場合は「S」ではなく、「A」と評価されるためと説明があった。続いて西委員より、高校訪問の成果について質問があり、千葉委員より訪問したほとんどの高校から次の入試で志願者が確認されているため大いに成果はあったと回答があった。

③ 公立小松大学協力会（案）の設立及びキックオフシンポジウムについて

山本副委員長より、資料7に基づき公立小松大学協力会（案）の設立及びキックオフシンポジウムについて報告があった。

④ 教育職員の人事について

山本副委員長より、資料8に基づき教育職員の人事について報告があった。

⑤ 客員教授について

山本副委員長より、資料9に基づき客員教授について報告があった。

⑥ 就職内定状況について

千葉委員より、資料10に基づき就職内定状況について報告があった。

その他

石田委員長より、本委員会の山崎委員が学長選考会議の議長に選出されたと報告があった。

以 上